

令和2年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和元年度)

●基本情報

事業名	診療			評価番号	2-1-4-1	
担当課	国保診療所	係	庶務係	会計	【03】国保・施設会計	
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり		予算科目	款	【0301】総務費
	基本施策	【1】健康づくりの推進			項	【030101】施設管理費
	施策	【4】医療体制の充実			目	【03010101】一般管理費
	主な取組	①地域医療体制の充実			事業	診療

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称	寄附講座の設置に関する協定書		
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 18 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 期間限定あり事業終了年度：令和 2 年度) <input type="radio"/> 単年度繰返し <input type="radio"/> 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 ( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
実施形態	<input checked="" type="radio"/> 町単独 <input type="radio"/> 国・県補助事業 <input type="radio"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="radio"/> その他( )				
事業概要	筑波大学が県内で精力的に地域医療に取り組んでいる診療所を研修ステーションとして指定し、そこに専任の指導医を派遣して学生・研修医の地域医療教育にあたる事業として平成18年から実施。 現在の協定書の期間は平成30年4月1日から令和3年3月31日で、3年毎に更新する。				

●実施 ~DO~

事業業績	この事業により、国保診療所は中澤医師と指導医及び研修医の3人の医師の体制で、平日は医師2人、第1・3・5土曜日(午前中)は医師1人の配置により診療を実施。				
	区分	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	
事業費	財源内訳	国支出金	0 円	0 円	0 円
		県支出金	0 円	0 円	0 円
		受益者負担金	0 円	0 円	0 円
		地方債	0 円	0 円	0 円
		その他	0 円	0 円	0 円
		一般財源	10,000,000 円	11,000,000 円	11,000,000 円
	事業費計	10,000,000 円	11,000,000 円	11,000,000 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 指導医・研修医が安定的に派遣されることにより在宅医療の充実が図られる。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 全国的に医師確保に関して厳しい状況が続く中、筑波大学の地域医療教育拠点として活用することで指導医・研修医が安定的に確保される。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 診察の強化により医療体制の充実と在宅医療の充実が図られており、事業内容を見直す必要性はない。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 筑波大学の地域医療教育ステーション事業のため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由 類似事業はないので統廃合はできない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 必要最少限の寄附金であるため、これ以上の寄附金削減はできない。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業 理由 国保診療所の医療受診体制を維持または継続していくためには必要である。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大） <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	<b>【理由】</b> 今後も、筑波大学との寄附講座（地域総合診療医学）と協力連携を図り指導医及び研修医が安定して確保することにより、診療及び在宅医療診療と居宅療養管理指導業務が継続して地域医療の充実が図られる。